

呉工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	建築史 I	
科目基礎情報						
科目番号	0169	科目区分	専門 / 選択必修			
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	建築学科	対象学年	3			
開設期	前期	週時間数	2			
教科書/教材	藤岡通夫他『建築史』市ヶ谷出版社、2010年					
担当教員	岩城 考信					
到達目標						
1.日本の古代、中世の神社建築及び寺院建築について説明できる。 2.近世の郭建築及び住宅建築の形式について説明できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
日本の古代の神社建築及び寺院建築についての理解	日本の古代の神社建築及び寺院建築について適切に説明できる。	日本の古代の神社建築及び寺院建築について説明できる。	日本の古代の神社建築及び寺院建築について説明できない。			
日本の中世の神社建築及び寺院建築についての理解。	日本の中世の神社建築及び寺院建築について適切に説明できる。	日本の中世の神社建築及び寺院建築について説明できる。	日本の中世の神社建築及び寺院建築について説明できない。			
近世の宗教建築、城郭建築及び住宅建築の形式についての理解。	近世の宗教建築、城郭建築及び住宅建築の形式について適切に説明できる。	近世の宗教建築、城郭建築及び住宅建築の形式について説明できる。	近世の宗教建築、城郭建築及び住宅建築の形式について説明できない。			
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HC)						
教育方法等						
概要	建築史は建築学分野の包括的な専門知識と能力を養うために設けられた科目である。先人達の建築技術向上の努力や建築文化および建築様式の歴史的な流れを学び、授業を通して知的探求心を身につけることを目的とする。					
授業の進め方・方法	建築史Iでは、講義を中心に、日本の建築の歴史を学習する。					
注意点	<p>勉強方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 教科書を何度も読み歴史の流れをつかむ。 配布資料により写真を確認し、重要な用語と造形の特徴を覚える。 授業中に不明な点は質問し、理解の度合いを深める。 <p>成績評価</p> この科目シラバスの最下部にある「評価割合」の欄を参照すること。なお、この欄にある「総合評価割合」の「合計」100%のうち60%以上到達すれば合格となる。					
授業の属性・履修上の区分						
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	縄文・弥生・古墳時代の住居・集落と神社建築	神社建築の起源と形式の理解		
		2週	飛鳥、奈良時代の寺院建築	寺院の伝来と形式、奈良時代の寺院とその構造の理解。		
		3週	都城の制と古代の住宅建築	都城の建設、古代の宮殿と住宅様式の理解		
		4週	平安時代の寺院建築と神社建築の発展	密教と浄土教の寺院、奈良時代と平安時代の神社の理解		
		5週	中世の寺院建築1	大仏様と禅宗様の理解		
		6週	中世の寺院建築2	中世の和様、折衷様と構造の発達理解		
		7週	中世の住宅建築	庭園と建築、中世の住宅形式の理解		
		8週	城郭建築	日本の城、天守の発達理解		
	2ndQ	9週	近世の住宅	桃山時代と江戸時代の住宅、庭園の理解		
		10週	数寄屋建築	茶室と路地の成立、数寄屋風の住宅の理解		
		11週	城下町	城下町の構成、武家と町人の住まいの理解		
		12週	近世の宗教建築と聖堂、学校建築	近世の霊廟、神社、寺院、聖堂と学校建築の理解		
		13週	近世庶民の建築	能舞台と劇場、農家の理解		
		14週	1から13週までの復習	日本の古代から近世までの建築全体の理解とその復習		
		15週	期末試験	日本の古代、中世、近世の建築の理解の確認		
		16週	答案返却・解答説明	日本建築の総合的な理解		
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	計画・歴史	古代(例えば、エジプト、オリエント、エーゲ海、ギリシャ、ローマなど)の特徴について説明できる。	4	
				中世(例えば、ビザンチン、イスラム、ロマネスク、ゴシックなど)の特徴について説明できる。	4	
				近世(例えば、ルネサンス、マニエリスム、バロック、ロココなど)の特徴について説明できる。	4	
				原始(例えば、竪穴住居、高床建築、集落など)の特徴について説明できる。	4	
				古代(例えば、住宅建築、寝殿造、都市計画、神社建築、寺院建築など)の特徴について説明できる。	4	

			中世(例えば、住宅建築、神社建築、寺院建築(大仏様、禪宗様、折衷様など))の特徴について説明できる。	4	
			近世(例えば、住宅建築、書院造、数寄屋風書院、町屋、農家、茶室、霊廟、社寺建築、城郭)の特徴について説明できる。	4	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	レポート	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	10	20	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	0	0	10	20	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0